

## 第 162 回日本民具学会研究会

### テーマ：民具研究の新しい切り口

- 日 時 2023 年 8 月 6 日（日） 13:00～16:00
- 発表者 ①美濃加茂市民ミュージアム 館長 可児光生・学芸員 藤島夢花  
②安城市教育委員会生涯学習部文化振興課 石原奈緒子
- 会 場 美濃加茂市民ミュージアム  
〒505-0004 美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1
- 主 催 日本民具学会
- 共 催 美濃加茂市
- 概 要 美濃加茂市民ミュージアムで開催された「ハコ展」は、これまで道具の機能から捉えテーマを設定しがちだった博物館民具展示とは異なり、機能だけではない「ハコという概念」など多様な切り口からハコを捉えるという手法を用いた新しい展覧会であった。そこで、その展覧会の企画について語っていただく。また、最近に登録有形文化財として建物が記録されることがあるが、中に残る道具について議論され記録されることは少ない。文化財保護の視点から、立地や建物、そして道具に至るまで総合的に捉えていく重要性を語ってもらう。
- 予 定
  - 13:00～13:20 会長挨拶とテーマ概要
  - 13:20～14:20 民具研究の新しい切り口「ハコ展の視点」  
美濃加茂市民ミュージアム 学芸員 可児光生  
学芸員 藤島夢花
  - 14:20～14:30 休憩
  - 14:30～15:10 民具研究の新しい切り口  
「空間と道具を捉える～愛知県安城市旧山三みかん園の事例から」  
安城市教育委員会生涯学習部文化振興課 石原奈緒子
  - 15:10～16:00 意見交換会
- 参加方法 対面
- 参加料 無料
- 申し込み方法
  - ・参加希望の方は、みのかも文化の森ホームページ専用フォームから、「お名前・所属・メールアドレス」を記してお申込みください。（<https://logofom.jp/form/XQZW/336603>）

